

神奈川県 黒岩知事が湘南慶育病院を視察されました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



湘南慶育病院では、慶應義塾大学SFC研究所と連携して、総務省委託事業「高精細映像技術を活用した遠隔在宅医療に関する実証」を請け負い、「遠隔在宅医療 Hospital in the home の実証」についての研究を進めています。



在宅時でも患者さんを見守る「Hospital in the home」のコンセプトの実現とは、患者さんのご自宅のテレビ等を使って、まるで診察室にいるかのように医師の診察を受けられるような環境の実現です。例えばテレビのリモコンを使った簡単な操作で、あらかじめ設置したインターネット用のカメラを通して医師の診察を気軽に受けられるようになれば、通院が困難な方への手助けになりますし、通院や病院での診察待ちなどに時間を費やすことがなくなります。

2018年7月5日、その「遠隔在宅医療 Hospital in the home」の視察に神奈川県 黒岩 祐治 知事が湘南慶育病院に来院されました。黒岩知事は、知事に出馬される前にはジャーナリストとして医療問題に取り組まれており、知事になられてからも「未病を改善する取り組み」と「最先端の医療・最新技術の追求」の2つのアプローチを柱とした「ヘルスケア・ニューフロンティア政策」を進め、神奈川県を健康寿命日本一にすることを掲げています。そのような観点から、今回、「遠隔在宅医療 Hospital in the home」に興味を持たれて来院が実現しました。



今回の視察では、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科から特任准教授 佐藤 雅明先生、湘南慶育病院から私と松本顧問、堀江副院長、間山マネージングディレクターが対応させていただきました。



まず「Hospital in the home」のシステム概要について佐藤准教授からご説明していただいた後、実際に黒岩知事が患者役になり模擬診療を体験されました。

患者さんは、診察の前に問診を入力します。

診療時間が来ると回線が病院と繋がり、テレビの上のカメラを使ってテレビ電話のように医師と会話しします。



医師側の画面にも知事の顔が映し出されています。

今度は、医師役として診察の画面を確認されました。



患者役の口腔内の確認をしていただきました。カメラは現在放送されているハイビジョン番組の16倍もの解像度を持つ、超高精細な次世代の映像規格8Kスーパーハイビジョンを使用しているため、口腔内も鮮明に確認できることを体験していただきました。



模擬診察の後には、佐藤准教授から遠隔診療の今後の研究に関する説明や、松本顧問より医療制度の問題点や通信技術の課題などについて説明しました。

黒岩知事からは「遠隔診療を地域に普及させるためにはどのような障害があるのか」などのご質問をいただくなど、非常に熱心に話を聞いていただきました。また最後には、「神奈川県でできることを今後検討していきます」との力強いお言葉も頂きました。



患者さんとそのご家族が安心して地域で暮らせる環境を実現するために、神奈川県や慶應義塾大学と共同し、「遠隔在宅医療 Hospital in the home」の実現をはじめとしたICT（情報通信技術）を活用した様々な新しい医療サービスの構築に努めていきたいと考えています。